

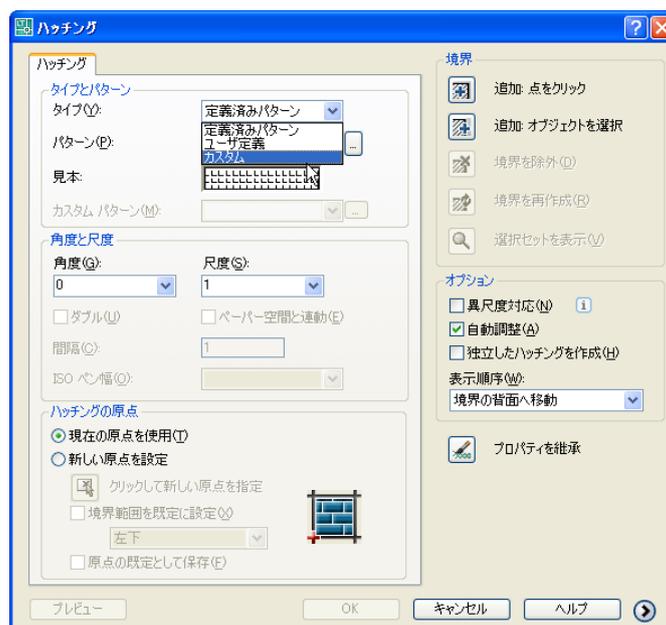
■ハッチングの使い方■

AutoCAD & LTでハッチングの使い方

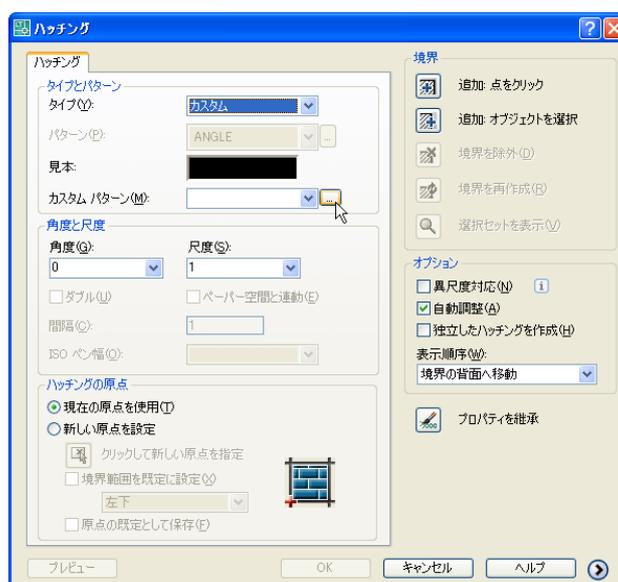
①[作成]→[ハッチング]コマンドを選びます。

表示される[ハッチング]ダイアログの中の[タイプ]の中の[カスタム]を選びます。

ユーザーが自主作成したハッチング・パターンはここから選びます。

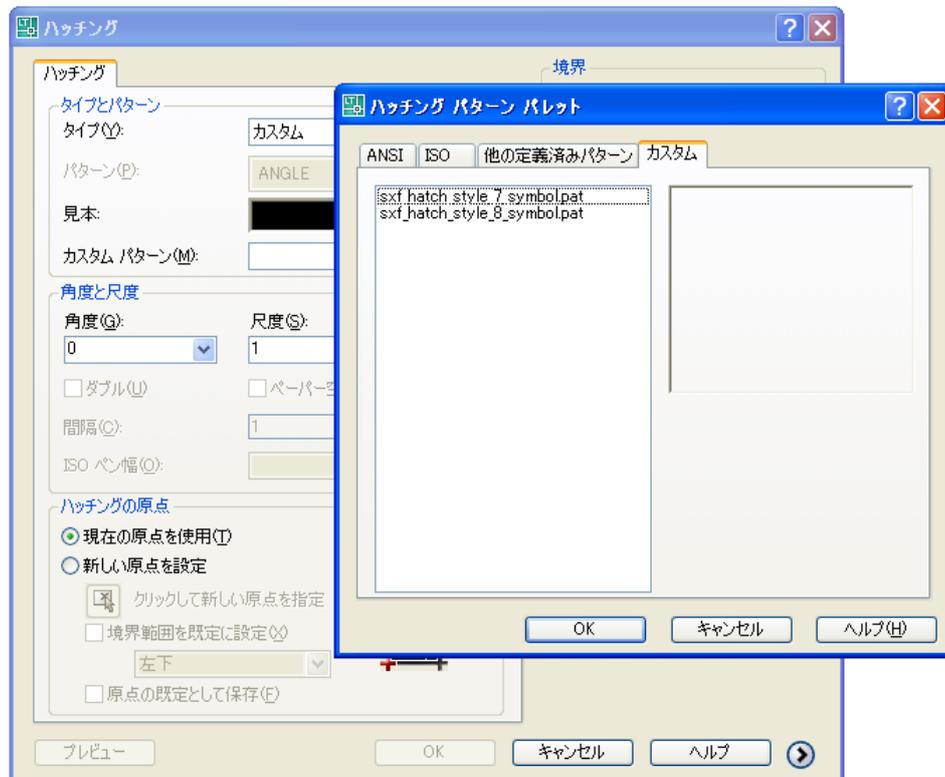


②[カスタム パターン]の右側の<...>を選びます。



③[ハッチング パターン パレット]の[カスタム]の中には、2つの種類しかありません。

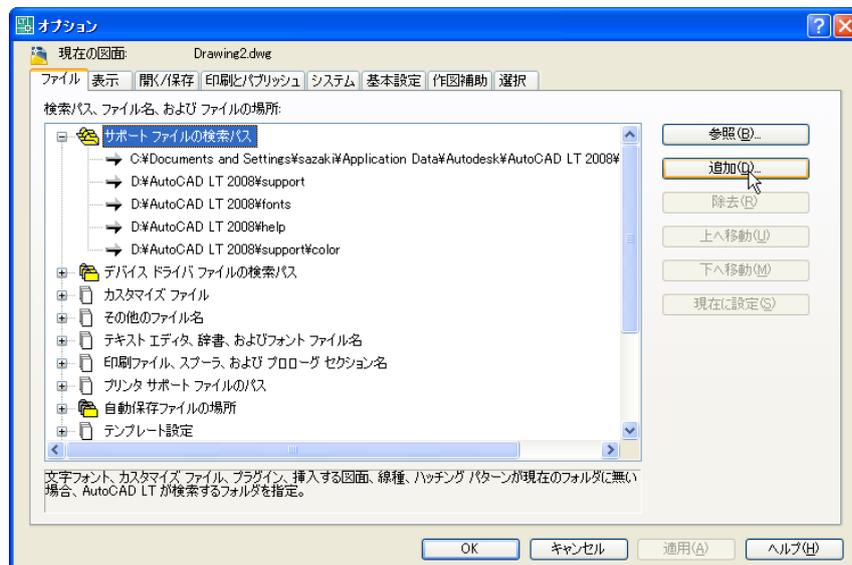
ユーザーが作成したハッチングのパターンが存在する場所（フォルダ名）を事前に登録しておく必要があるのであります。



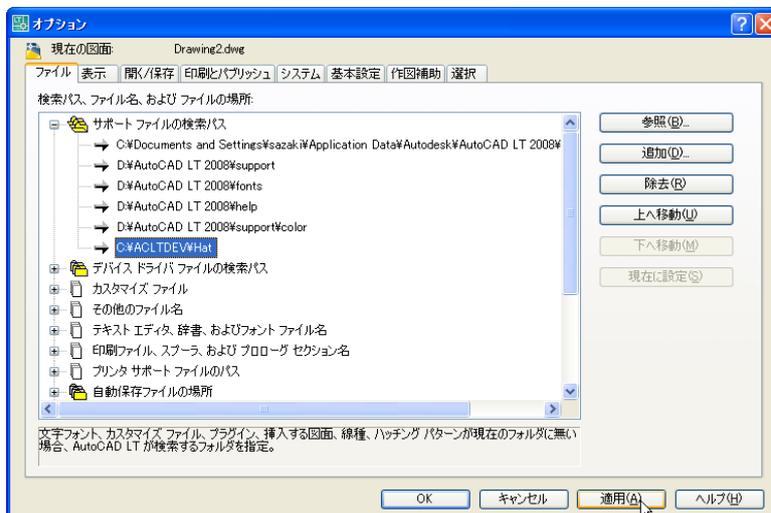
④[ツール]→[オプション]コマンドを選びます。

表示される[オプション]ダイアログの中の[サポート ファイルの検索パス]を選びます。

ハッチング パターンの存在する場所をここで明示しておきます。



⑤右にある[追加]ボタンを押して、ハッチングパターンが存在する場所（フォルダ）を記述します。（マウスで選ぶこともできますし、キーボードから直接入力することも可能です。）この例では、<C:\¥ACL TDEV¥Hat>のフォルダに入れてあります。



⑥そして、再度[作成]→[ハッチング]コマンドを選びます。

表示される[ハッチング]ダイアログの中の[タイプ]の中の[カスタム]を選びます。

[カスタム パターン]の右側の<...>を選びますと、自分が作成したハッチングの一覧が表示されます。ハッチングの絵柄も登録されていますから、わかりやすいですね。

